

---

# 現金強盗

境康隆

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

現金強盗

### 【コード】

N19000

### 【作者名】

境康隆

### 【あらすじ】

銀行に押し入った男。彼は現金強盗を企てていた

「金を出せ！」

男は銀行に押し入った。ナイフを片手に、一番近くにいた銀行員を脅す。

その女性行員は客の為に、両替の用意をしているところだったようだ。紙に包まれた硬貨の束が、固い音を立てて机を転がった。

「キヤーツ！」

行内に悲鳴が上がる。行員と客。両方からの悲鳴だ。

警備員が慌てて飛び出そうとした。

それを男はナイフの切っ先で押しとどめる。

男の心理そのままにか、ナイフが不安定に揺れた。

警備員はそのナイフの震えに、迂闊な行動がとれなくなる。

「動くな！ この袋に有りつ丈の現金を入れる！」

男は切羽詰まった表情で、持参した袋を受付の行員に投げつけた。

女性行員が怯えた目で同僚に視線を送る。同僚は黙って頷いた。

ここは大人しく従った方がいい。それはこの場にいた誰もが思ったことだった。

それ程この男の顔には鬼気迫るものがあつた。目が血走っている。手先は細かく震えていた。怒らせると、何をし出すか分からない。

別の行員が札束を奥から持ってきた。女性行員に手渡す。二人とも震えていた。

女性行員がそれでも恐る恐る札束を詰めようとすると、

「違う！」

男は苛立ったようにナイフを振り回した。

女性行員は何を怒られたのか分からない。札束は高額紙幣のものだ。女性行員の小さな手で掴んだ量だけで、一年は遊んで暮らせるだろう。

額が少ないと思ったのか？ 偽札だと思われたのか？

女性行員は訳が分からないまま、それでも現金を詰めようとした。  
「違う！ 何勝手にやっつてんだよ！」

男は更に苛立つ。

別の男性行員が、逆上する相手を宥めようとしてか、追加の紙幣の束を持って女性行員に手渡そうとする。

「違つて！ 言っつてんだろ！」

行員は誰も、男の言いたいことが分からない。

「それをよこせ！」

苛立つ男はナイフの切っ先で目的のものを指し示す。

男の注意が一瞬逸れた。

そうと見たかのか、警備員が後ろから警棒を振り下ろした。

「で、何が目的だつて、あの男」

刑事らしき男が振り返る。銀行を襲った男。警備員の機転により、未遂で逮捕された銀行強盗の男。

その男が取調室にいる。

その中を覗き込み見ながら、刑事は部下の返事を待った。男は取り調べに対して、神妙に応じているようだ。

「お金です。紛うことなき現金が目的でした」

「札束渡そうとしたら、キレて『違う』とか言い出したそうじゃないか？」

「ええ。男が欲しかったのは、札束ではありませんでしたから」

「何だよ。現金が目的だろ？ 札束上等じゃねえか」

「男が欲しかったのは、硬貨だったんです。それもかなり小額の」

「はあ？ 小銭つてか？」

「ええ。男は両替用の硬貨の包みを奪おうとしました。目的は稀少硬貨。硬貨の周囲にギザギザのあるやつです。大した価値はありませんが、欲しがる人間自体はいても不思議ではないものです」

「言っつても小銭だろ？ それぐらい両替すりゃいいじゃねえか」

「両替するお金がなかったんですよ」

「両替するお金がないなら、我慢しろってんだ。硬貨収集なんてのは、お金持ちの道楽だろうよ?」

「いえ。お金は持っていたみたいですよ」

「はあ?」

いぶかる刑事に、部下は一枚の写真を差し出した。

男の部屋と思しきその写真の中には、

「ただ両替するお金がなっただんですよ」

ギザギザの刻まれた硬貨が、うずたかく積み重ねられていた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1900o/>

---

現金強盗

2010年10月30日20時18分発行